

学校経営推進費 評価報告書（最終）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の学力の充実
評価指標	産業財産権の取得並びに資格取得者数の増加
計画名	「創造性教育のための技術向上」プロジェクト

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的・基本的な学力と技能力を定着させる学習指導の推進。 2 生徒一人ひとりの能力を伸ばす教育の推進。 3 基本的な生活習慣の育成と規範意識の醸成。 4 地域と連携した広報活動の充実と開かれた学校づくり。
事業目標	<p>産業財産権取得並びに資格取得者数の増加のため、以下の4点を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 産業財産権の取得に取り組み、自身の力量や他者の力量を図り、更なる向上をめざす人材を育成する。 2 各種の国家資格や検定試験に向けた指導体制を確立する。 3 ものづくり実習の中で、一定レベルの加工技術など、コンテストに必要な技術を習得させる。 4 各種コンテストに出場し、常に優勝を狙えるレベルになるよう育成を図る。
整備した 設備・物品	3Dプリンタ用樹脂、オシロスコープ、シグナルジェネレータ、低周波発振機、周波数カウンタ、直流安定化電源、電圧計、電流計、寸法測定器具（ノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージ）、軟鋼鋼材、切削用刃物、アルミ角材・L型材、溶接棒、防塵マスク、スペクトルアナライザ
取組みの 主担・実施者	<p>主担：創造性教育のための技術向上プロジェクトチーム 取組みの実施者：産業創造系教員5名、機械系教員2名、電気系教員2名</p>
本年度の 取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 昨年度に引き続き、産業創造系 学校設定科目「製品開発」にて、生徒児童発明工夫展へ応募 日本弁理士会近畿支部長賞・奨励賞・入選 各1点 及び、2年連続の団体賞受賞 毎日・DAS学生デザイン賞（高校生の部）ファッション&テキスタイル部門に応募、入選。 特許権・実用新案権の取得に向け、デザインパテントコンテストにエントリー 2 <ol style="list-style-type: none"> ①昨年と同様電気工事士 第二種および第一種電気工事士の受験指導。 ②1年生工業技術基礎測定実習での実践（継続） 次期機械系所属生徒対象に高度熟練技能士（ものづくりマイスター）寸法測定器具（ノギス、マイクロメータ）を使用した測定実習を実施。機械加工における測定の重要性を理解させた。 ③アーク溶接JIS評価試験（A-2F）資格取得&溶接コンクールに向けての実践 今年度は、新しい取組みとして半自動溶接の基本級SA-2Fに1名初チャレンジした。 ④高校生ものづくりコンテスト（旋盤作業部門）近畿大会出場への挑戦 近畿大会をめざし、高校生ものづくりコンテストへの大阪大会へ出場。 レベルの高いコンテストであるため精度加工が必要である。 デジタルマイクロメータ、3点マイクロメータ等を使用し、 素早くより精度のよい部品加工製作に取り組んだ。 ⑤技能検定3級機械加工（普通旋盤作業）技能士への挑戦 旋盤作業における資格取得へのチャレンジとしてより精度測定が必要であるため、 ノギス、マイクロメータ、3点マイクロメータ等の測定器具を利用した。 ⑥技能検定3級機械検査（機械検査作業）技能士への挑戦 機械検査作業においてノギス、マイクロメータ等を利用した高精度な測定。 ⑦3Dプリンターを用いたものづくり 各種大会で使用する部品製作、課題研究等での3Dプリンターの活用。 ⑧府外視察にて、創造性教育を謳っている大学を訪問 創造性教育の大学でのあり方と、本校での取組みに対し様々な意見をもらう。 今後の本校での創造性教育の進め方について助言をいただく中で、現状の取組みをブラッシュアップしつつ、より良い教育方法について、産業創造系の会議の中で意見交換を行った。 3 地域連携イベントに積極的に参加。 本校主催「夏休み自由研究フェア（於：いこらモール）」でのドレス・スーツファッションショー開催。イオンモールりんくう泉南店で開催された「イオンde文化祭」企画に学校として参加。 産業教育フェア「ファッションショー」で参加。

成果の検証方法 と評価指標	1 実用新案権の申請並びに取得 2 電気工事士合格率（75%）、旋盤技能士合格率（70%）、ガス溶接技能講習・アーク溶接特別教育講習等受験 3 地域産業連携型校として、連携を行う（30件程度） 4 エコデンカーラリー・マイコンカーレースへの参加し優勝をめざす。
自己評価	1 産業創造系 学校設定科目「製品開発」にて、生徒児童発明工夫展をはじめ様々なコンテストに応募。(○) 毎日・DAS学生デザイン賞（高校生の部）ファッション&テキスタイル部門に応募、入選。(○) 知的財産権の取得に向け、デザインパテントコンテストへの出品(○) 2 ①電気工事士 第二種および第一種電気工事士の受験指導 ・第二種電気工事士72名合格、合格率80% (◎) ・第一種電気工事士31名合格、合格率67% (◎) ②1年生工業技術基礎測定実習での実践(継続) ・測定技術の向上とプロの方からの指導を通して技能検定を含め資格の大切さを学んだ (◎) ③溶接関係の資格取得とコンクール実績 ・アーク溶接JIS評価試験 (A-2F) 資格取得に今年度は16名合格 (◎) ・アーク溶接JIS評価試験 (A-2V) 資格取得に今年度は1名合格 (○) ・アーク溶接JIS評価試験 (SA-2F) 資格取得に今年度は1名合格 (○) ・ガス・アーク溶接合格率90%以上 (◎) ・溶接コンクール優秀賞2名 (○) ④高校生ものづくりコンテスト(旋盤作業部門)近畿大会出場への挑戦 ・高校生ものづくりコンテスト大阪大会(旋盤作業部門)3位入賞(○) ⑤技能検定3級機械加工(普通旋盤作業)技能士 ・受験者 16名 合格11名 2名結果待ち(自己採点で2名とも合格見込み) (○) ⑥技能検定3級機械検査(機械検査作業)技能士 ・受験者 16名 全員結果待ち(自己採点で15名合格見込み、1名病欠による未受験) (○) ⑦3Dプリンターを用いたものづくり ・課題研究における3Dプリンターを活用。ロボット相撲やマイコンカー部品製作等で活用。 マイコンカーラリー大会、ロボット相撲大会においては今年度も全国大会出場を果たした。(◎) 3 地域連携イベントに積極的に参加。 本校主催「夏休み自由研究フェア(於:いこらモール)」でのドレス・スーツファッションショー開催。(○) イオンモールりんくう泉南店で開催された「イオンde文化祭」企画に学校。(○) 課題研究の取り組みで、一般市民向けの製作講座の講師などを行う(○) 産業教育フェア「ファッションショー」で参加。(○) 4 ①マイコンカーラリー・エコデンレースへの参加 ・マイコンカーラリー全国大会出場(◎) ②エコデンレースへの参加 ・総合8位 全国自動車教育研究会会長賞受賞(○)
事業のまとめ	創造性教育をすすめるにあたり、創造性を評価する手法として、特許権や意匠権と言った権利取得が考えられる。ただし、出願料の捻出が困難なため、パテントコンテストを始めとする各種コンテストへの参加を推し進めていくべきであると考え、実践してきた。また、地域と連携した広報活動の充実と開かれた学校づくりを進めるため、数多くの地域連携活動に参加をすることができ、積極的に参加してくれた生徒たちには、良い経験をさせることができた。 また、今回の取組みを通し、教員の意識が高まったと実感している。